

スコアシート

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質・性能						3.3
Q-1 室内環境			0.40			3.3
1 音環境		1.6	0.15	2.8	1.00	2.8
1.1 騒音		1.0	0.40	3.0	0.29	
1 暗騒音レベル		1.0	1.00	3.0	1.00	
2 設備騒音対策		-	-	-	-	
1.2 遮音		2.0	0.40	3.1	0.50	
1 開口部遮音性能		2.0	1.00	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能		-	-	2.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	2.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音		2.0	0.20	2.0	0.21	
2 温熱環境		2.0	0.35	3.0	1.00	3.0
2.1 室温制御		2.0	0.50	3.0	1.00	
1 室温設定		-	-	-	-	
2 負荷変動・過渡制御性		-	-	-	-	
3 外皮性能		2.0	1.00	3.0	1.00	
4 ゾーン別制御性		-	-	-	-	
5 温度・湿度制御		-	-	-	-	
6 湿度制御		-	-	-	-	
7 時間外空調		-	-	-	-	
8 監視システム		-	-	-	-	
2.2 湿度制御		2.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式		2.0	0.30	-	-	
3 光・視環境		2.7	0.25	3.0	1.00	3.0
3.1 昼光利用		3.0	0.30	3.0	0.35	
1 昼光率		3.0	0.60	3.0	0.50	
2 方位別開口		-	-	3.0	0.30	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策		2.0	0.30	3.0	0.35	
1 照明器具のグレア		-	-	-	-	
2 昼光制御		2.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度		3.0	0.15	-	-	
1 照度		3.0	1.00	-	-	
2 照度均斉度		-	-	-	-	
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.29	
4 空気質環境		5.0	0.25	4.5	1.00	4.5
4.1 発生源対策		5.0	1.00	5.0	0.63	
1 化学汚染物質	ホルムアルデヒド以外にもVOCの放散量の少ない建材を採用	5.0	1.00	5.0	1.00	
2 アスベスト対策		-	-	-	-	
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-	
4 レジオネラ対策		-	-	-	-	
4.2 換気		-	-	3.6	0.38	
1 換気量		-	-	5.0	0.33	
2 自然換気性能		-	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		-	-	3.0	0.33	
4 給気計画		-	-	-	-	
4.3 運用管理		-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-	
2 喫煙の制御		-	-	-	-	
Q-2 サービス性能		-	0.30	-	-	2.8
1 機能性		3.6	0.40	2.4	1.00	2.4
1.1 機能性・使いやすさ		4.0	0.60	2.0	0.60	
1 広さ・収納性		-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応		-	-	2.0	1.00	
3 バリアフリー計画	ハートビル法利用円滑化基準を最低限満たしている	4.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		3.0	0.40	3.0	0.40	
1 広さ感・景観		-	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-	
3 内装計画		3.0	1.00	3.0	0.50	
2 耐用性・信頼性		3.3	0.31	-	-	3.3
2.1 耐震・免震		3.0	0.48	-	-	
1 耐震性		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.7	0.33	-	-	
1 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.29	-	-	
2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	官庁営繕等の耐用年数資料による	4.0	0.12	-	-	
3 配管・配線材の更新必要間隔	官庁営繕等の耐用年数資料による	4.0	0.29	-	-	
4 主要設備機器の更新必要間隔	官庁営繕等の耐用年数資料による	4.0	0.29	-	-	
2.3 適切な更新		-	-	-	-	
1 屋上(屋根)・外壁仕上げ材の更新		-	-	-	-	
2 配管・配線材の更新		-	-	-	-	
3 主要設備機器の更新		-	-	-	-	
2.4 信頼性		3.8	0.19	-	-	
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備	将来の改修に配慮した設備、構造計画としている	4.0	0.20	-	-	
3 電気設備	浸水の危険性がなく、また、無停電設備を備えている	5.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備	浸水の危険性がなく、また、通信手段の多様化に対応可能としている	4.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性		2.8	0.29	2.8	1.00	2.8
3.1 空間のゆとり	1 階高のゆとり	-	-	2.6	0.50	
	2 空間の形状・自由さ	-	-	3.0	0.60	
	3.2 荷重のゆとり	-	-	2.0	0.40	
	3.3 設備の更新性	2.8	1.00	3.0	0.50	
	1 空調配管の更新性	3.0	0.17	-	-	
	2 給排水管の更新性	2.0	0.17	-	-	
	3 電気配線の更新性	3.0	0.11	-	-	
	4 通信配線の更新性	3.0	0.11	-	-	
	5 設備機器の更新性	3.0	0.22	-	-	
	6 バックアップスペース	3.0	0.22	-	-	
Q-3 室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	3.9
1 生物環境の保全と創出		3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		5.0	0.40	-	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮		3.5	0.30	-	-	3.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	ふれあいスペースを設けるなど地域の活性に取り組んでいる	4.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上	3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.3
LR-1 エネルギー		-	0.40	-	-	3.4
1 建物の熱負荷抑制		3.0	0.40	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用		3.0	0.20	-	-	3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	
	2.2 自然エネルギーの変換利用	3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		品確法省エネルギー告示水準等級3としている	4.0	0.40	-	4.0
4 効率的運用		-	-	-	-	-
4.1 モニタリング		-	-	-	-	
	4.2 運用管理体制	-	-	-	-	
LR-2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.6
1 水資源保護		2.8	0.15	-	-	2.8
1.1 節水		1.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水再利用	4.0	0.60	-	-	
	1 雨水利用システム	4.0	1.00	-	-	
2 雑排水利用システム		-	-	-	-	
	2 低環境負荷材	3.8	0.85	-	-	3.8
2.1 資源の再利用効率		3.6	0.35	-	-	
	1 躯体材料の再利用効率	3.0	0.67	-	-	
2 非構造材料の再利用効率		5.0	0.33	-	-	
	内装材や舗装材に再生建材を利用	3.0	0.04	-	-	
2.2 持続可能な森林から産出された木材		5.0	0.08	-	-	
2.3 有害物質を含まない材料		3.0	0.18	-	-	
2.4 既存建築躯体などの再利用		5.0	0.18	-	-	
2.5 部材の再利用可能性		3.5	0.18	-	-	
2.6 フロン・ハロンの回避		4.0	0.50	-	-	
1 消火剤		3.0	0.50	-	-	
	2 断熱材	-	-	-	-	
	3 冷媒	-	-	-	-	
LR-3 敷地外環境		-	0.30	-	-	3.0
1 大気汚染防止		3.0	0.10	-	-	3.0
2 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.10	-	-	3.0
2.1 騒音		3.0	1.00	-	-	
	2.2 振動	-	-	-	-	
	2.3 悪臭	-	-	-	-	
3 風害、日照阻害の抑制		3.0	0.15	-	-	3.0
3.1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
	3.2 日照阻害の抑制	3.0	0.30	-	-	
4 光害の抑制		防犯や災害など必要最低限の機能を確保し周辺へ配慮した計画	5.0	0.10	-	5.0
5 温熱環境悪化の改善		2.0	0.30	-	-	2.0
6 地域インフラへの負荷抑制		3.6	0.25	-	-	3.6
6.1 雨水処理負荷抑制		-	-	-	-	
	6.2 汚水処理負荷抑制	3.0	0.33	-	-	
	6.3 交通負荷抑制	4.0	0.33	-	-	
	6.4 廃棄物処理負荷	4.0	0.33	-	-	
利用者を考慮した駐輪台数や利便性、安全性に配慮した動線計画						
有価物の計画的な回収を計画						

■ LR-1 用途別点表		集合住宅	-	-	-	面積按分
2988 m ²		-	-	-	-	総合スコア
1 建物の熱負荷抑制		3.0	-	-	-	3.0
3 設備システムの	ERRIによる評価	-	-	-	-	4.0
高効率化	個別設備による評価	4.0	-	-	-	
3.1 空調設備		-	-	-	-	-
3.2 換気設備		-	-	-	-	-
3.3 照明設備		-	-	-	-	-
3.4 給湯設備		4.0	-	-	-	-
3.5 昇降機設備		-	-	-	-	-